

# 令和2年度年末公開安全衛生パトロールの様子 ～ 仙台市内でコロナ対策を意識しながら宅地造成現場を巡視～

## 【パトロール現場概要】

- 工事名 (仮称) 泉PT第6住区東工区開発計画造成工事
- 施工者 大成建設(株) 東北支店
- 発注者 三菱地所株式会社・パナソニックホームズ株式会社・関電不動産開発株式会社)

当日(12月11日)は、風も穏やかでこの時期にしては気温が高く、防寒着がなくとも巡視できる日和でした。

初めに参加者の体調、体温チェック、消毒を行い、現場詰所にて、本件現場を施工する大成建設の出羽現場代理人様から、工事概要や実施されている安全衛生対策の説明、当日の作業状況等の説明を受けた後、巡視開始です。

まずは、現場事務所・朝礼台周辺で、安全衛生標識や安全目標等が積極的・効果的に掲示されている状況を確認した後、作業者通路と車道との分離状況や架設(仮設)通路・階段等の設置状況を点検しながら、作業場へ移動しました。

作業場内では、出羽現場代理人から作業中の内容についての説明を受けながら、重機による掘削作業及び重機と人との接触防止対策等について重点的に確認しました。また、毛利局長自ら、重機オペレーターの運転資格等を確認し、作業者に「安全作業でよろしくお願ひします。ご安全に!」と声掛けを行いながら、広大な現場を巡視しました。



現場詰所にて挨拶する毛利局長



作業場への移動する巡視者一同  
(密にならぬよう、一定間隔を心掛けながら)



出羽現場代理人と現場図面の確認をする毛利局長

巡視後は現場詰所に戻り、意見交換等を行い、これからの冬季に向けての交通事故対策の取組、足場滑り止め等の徹底、車両から降車する際等の転倒災害防止対策などについて意見を取り交わしました。

最後に、パトロール全体に対する参加者全体としての講評として、毛利局長から「大規模現場の施工に当たり、重機との接触防止対策、施工に係る情報共有など種々の対策に非常によく取り組んでいただいている。東北ではこれから気象条件の厳しくなる冬場を迎えることから、転倒防止や交通事故対策にも留意してほしい。例年12月、1月は労働災害の発生が多い時期であることから、コロナ対策なども含め、引き続き安全対策に尽力していただき、無事故・無災害で全工期を終えていただきたい。」との総評があり、終了となりました。



作業者の資格を確認する毛利局長

#### 【あしがき】

現場詰所内での体調確認、体温チェックのほか、参加者間の飛沫防止用クリアパーティションの設置等、大成建設様の新型コロナウイルス感染症への感染防止対策は非常に良好でした。

また、公開での現場パトロールについて、御快諾、御協力いただき、誠にありがとうございました。

